

業務名	業種・事業名	自己資本構成比率 (%)	水力発電所数
法非適用	電気事業	該当数値なし	-
ごみ発電所数	風力発電所数	太陽光発電所数	その他発電所数
-	1	1	-
料金契約終了年月日	F I T 適用終了年月日	電力小売事業実施の有無	売電先
平成46年7月28日 恵山風力発電所	平成46年7月28日 恵山風力発電所	無	北海道電力株式会社
地産地消エネルギーへの寄与度 (%) ※1			
-			

※1 行政区域内の需要家に小売されたことが客観的に明らかであるものを計上。なお、この基本情報をもって全ての地産地消エネルギーへの取り組みを評価するものではない。

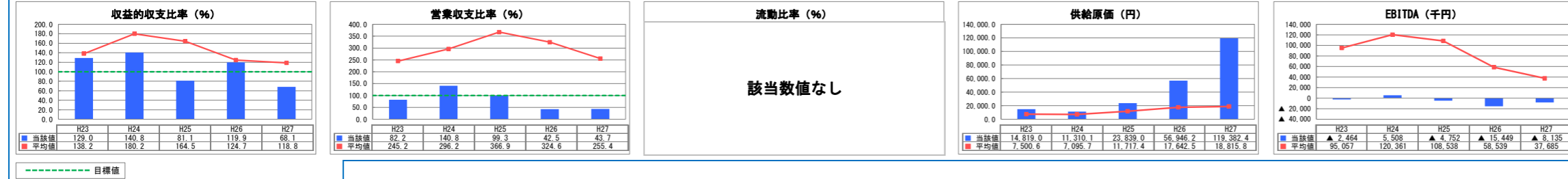
年間発電電力量 (MWh)	H23	H24	H25	H26	H27
水力発電	-	-	-	-	-
ごみ発電	-	-	-	-	-
風力発電	939	1,193	1,056	388	-
太陽光発電	-	-	-	58	102
合計	939	1,193	1,056	446	102

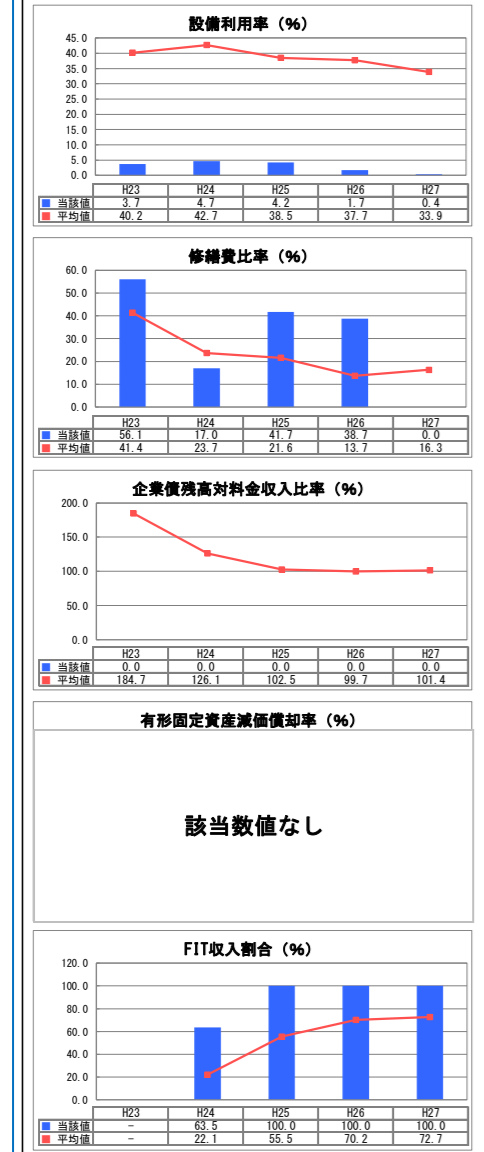
年間電灯電力量収入 (千円)	F I T 以外	F I T	合計
	-	3,988	3,988

## ●電気事業全体

### 1. 経営の状況

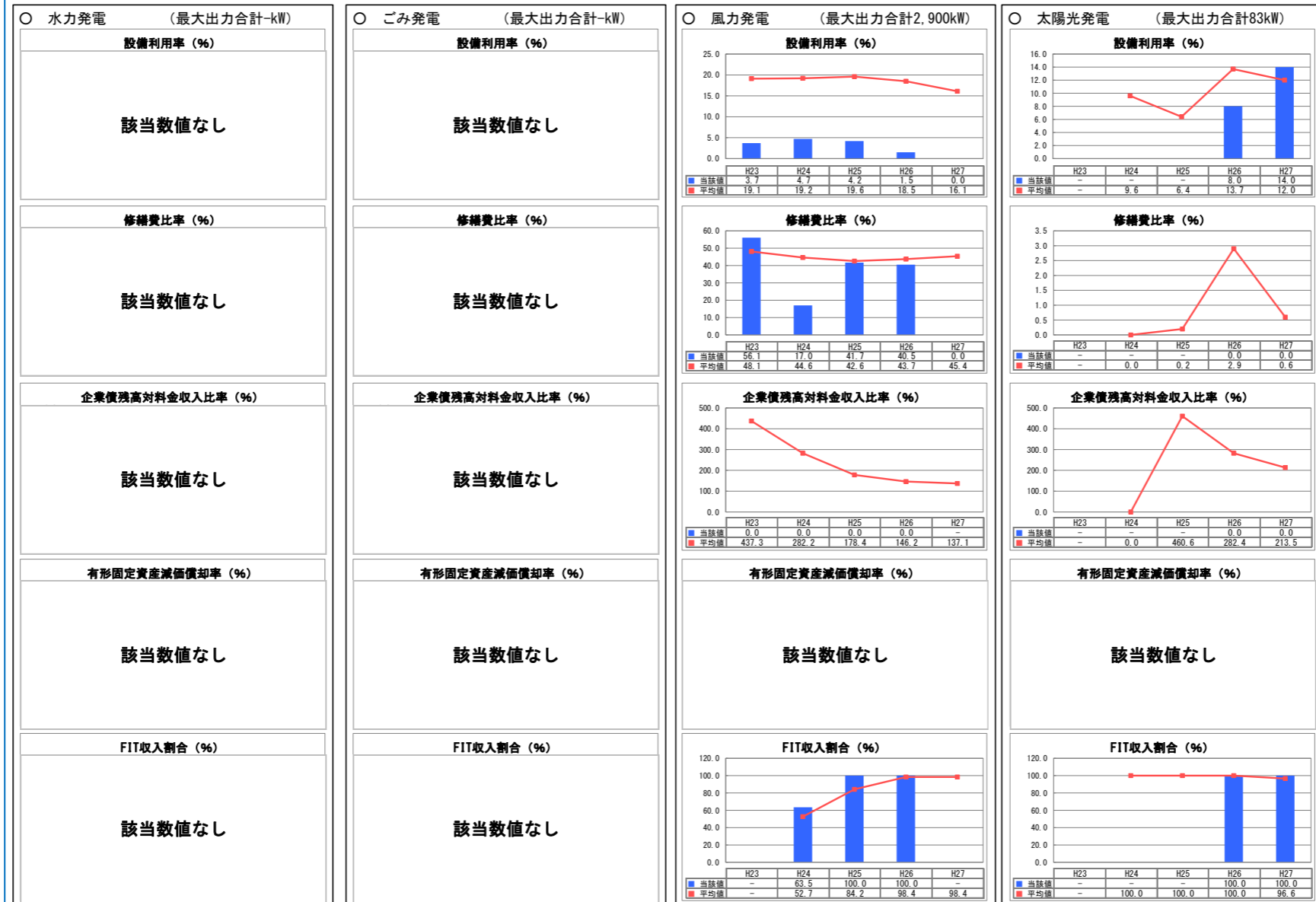


### ○ 施設全体 (最大出力合計2,983kW)



## ●発電型式別

### 2. 経営のリスク



※ 平成23年度から平成27年度における各指標の全国平均値は、当時の団体数を基に算出していますが、設備利用率及び修繕費比率、企業債務高対料金収入比率、FIT収入割合については、平成27年度の団体数を基に平均値を算出しています。

## 経営比較分析表

剰余金の使途について (具体的な使用実績事業を記入してください)	
一般会計への繰出し (翌年度)	1,240千円
目的: 一般財源 (特定一般財源としておりません)	

## 分析欄

1. 経営の状況について  
 平成27年度については太陽光発電事業では、発電・売電を順調に行うことができずとなったものの、風力発電事業では、施設の故障により発電を行うことができなかったため、電気事業全体では単年度収支が赤字となっている。なお、風力発電事業については、平成27年度をもって事業を廃止したため、平成28年度以降は、太陽光発電事業のみを行う。  
 平成27年度の状況としては、風力発電事業廃止に伴う補助金返還金が生じたため、供給原価が激増となり、また、事業を廃止するための施設修繕を行わなかったことから、修繕費比率が削減となっている。

## 2. 経営のリスクについて

平成27年度に風力発電事業を廃止し、平成28年度以降は太陽光発電事業のみを実施するため、平成27年度の順調な状況を鑑みるにリスクは低いと考えられる。  
 太陽光発電施設は平成26年度に設置されたばかりであるため、平成27年度に修繕費は発生しておらず、また(株)ジャックスからの寄付によるものであるため、企業債を活用していない。  
 ただし、全収入がFITで占められており、FIT適用期間終了(H46)後は、収入が大きく変動するリスクを抱えている。

## 全体総括

平成27年度については、風力発電事業の赤字により、電気事業全体としても赤字となっているが、平成28年度以降は、太陽光発電事業のみを実施するため、状況は改善すると考えられる。  
 FIT適用期間終了(H46)後の事業のあり方については、今後検討する。  
 ※経営戦略(平成28年1月26日付総務省通知)については、今後策定を検討。